

京都府・宮津市・京都大学 1まち1キャンパス事業(大学・地域連携プロジェクト支援)  
事業『農山村学生実習のための「丹後アジア研修拠点」形成事業』国際ワークショップ  
ブータンとの比較で考える過疎・農業離れの問題

主催：宮津市、京都府、京都大学、ブータン王立大学シェラブツェ校

日程：2017年1月28日(土曜日) 13:30～16:00

会場：宮津市市役所

近年、農山村の過疎や耕作放棄地の問題は日本だけでなく“幸せの国”として有名なブータンなどのアジア諸国でも大きな問題となりつつあります。宮津市、京都府、京都大学は平成28年度より1まち1キャンパス事業として日本を含めたアジア諸国の農山村問題を考える研修拠点として宮津を位置付け、京都大学学生や海外の研究者の方たちとともに地域の現状やまちづくりに関する調査をおこなっています。本報告会では今夏におこなわれたブータンの方との京滋・宮津での研修活動の報告とともに、ブータン王立大学から4名の研究者の方をお招きし、京滋、宮津、そしてブータンの農山村の問題を考えていきたいと思ひます。

◆タイムスケジュール

13:30 開会

13:30～13:35 歓迎挨拶 井上正嗣(宮津市市長)

14:35～13:40 趣旨説明 安藤和雄(京都大学)

13:40～13:55 「平成28年度研修活動報告」  
赤松芳郎(ブータン王立大学(京都大学))

13:55～14:15 「ブータンでの農業を通じた国民総幸福(GNH)の実践事例」  
ビマル・クマル・チャットリ(ブータン王立大学)

14:15～14:35 「サムドロップジョンカ・イニシアティブに見るブータンの農村開発」  
タンカ・ナット・ディタル(ブータン王立大学)

14:35～14:50 休憩

14:50～15:10 「ブータンからみた京滋・宮津の農山村」  
イシ・ザンモ、ラクディル・ドルジ・デマ(ブータン王立大学)

15:10～15:25 「京都大学の学生たちと考へたブータンと宮津の農山村問題(仮題)」  
安藤和雄または京都大学学生(京都大学)

15:25～15:40 「農山村問題とまちづくり(仮題)」  
XXXXX(宮津市役所 XXXXX 課)

15:40～16:00 質疑応答・総括

16:00 閉会

\* 司会：内田晴夫(京都大学)